









Investing in Women and Girls

UNDP・日本WID基金の経験から

**2008年3月10日
UNDP 東京事務所
大崎麻子**

ミレニアム開発目標 (MDGs) の概要

目標とその意義

1.  極度の貧困と飢餓の撲滅
2.  普遍的初等教育の達成
3.  ジェンダー平等の推進と女性の地位向上
4.  乳幼児死亡率の削減
5.  妊産婦の健康の改善
6.  HIV/エイズ、マラリア、その他の疾病の蔓延防止
7.  持続可能な環境の確保
8.  開発のためのグローバル・パートナーシップの推進



国際社会による
コミットメント

数値目標

達成期限

MDGs達成のために。。。

➤ 女性・女児のほうが、不利な立場・状況

- ・貧困人口、識字率/就学率、雇用
- ・HIV/エイズ
- ・政治参加（国会議員、地方議員） etc

➤ 女性・女児が「開発」において大切な役割

- ・無償労働（社会・経済を支える「ケア」「家事労働」「次世代の育成」）
- ・セーフティ・ネットとしての機能（経済のグローバル化、気候変動）

ジェンダーの視点

アフリカ農村女性の一日

水汲み農作業	農作業
薪あつめ	— 自家消費用
火をおこす	— 換金用
炊事	食糧加工
洗濯	市場で販売
育児	
年寄り・病人の世話	

- 関税撤廃
- 各種公共サービスの削減や民営化(水、医療、教育等)
- 農業政策(換金作物の需要に変化)
- 雇用市場の変化

アフリカ農村女性の一日

労働量 ↑ (特に「ケア」を含む無償労働)
労働時間 ↑
健康状態 ↓
自分のための時間 ↓ (知識・情報なし)
社会・政治参加の時間 ↓ (発言力なし)
教育の機会(女兒) ↓ (早婚、乳幼児死亡率増加、多産、一酸化炭素中毒死)

- 農業生産資源、技術へのアクセスが限られている
- 女性の政治参画が限定されている
- 家庭内での地位も低い(伝統的価値観、土地所有権、相続権の問題)
- 国家経済への貢献が正當に評価されていない
- 無尽の労働力?

経済のグローバル化

貿易の自由化、市場経済

累積債務 (構造調整政策の実施)

HIV/AIDSの増加

気候変動

エネルギー

どんな投資が必要？

- 女性・女児特有のニーズに対応
- 女性の労働量・労働時間を軽減
- 女性の経済的エンパワーメントを支援
- 女性の政治参加を促進する（＝女性のニーズを政策に反映させる）
- 国の経済政策、社会政策に「ジェンダー平等」の視点を統合する

UNDP/日本WID基金： 女性と女兒への「投資」

- 1995年 北京行動綱領と日本政府WIDイニシアティブの実施のための具体策として設立
- 2002年 WID基金への単独拠出から、人づくり基金、南々協力基金とともにPartnership基金へ統合、(WID/GAD)コンポーネントから拠出を続けている
- **2008年3月現在の実績**
 - 合計78案件
 - 対象：約60カ国
 - 計 1,800万ドル強
- 12年間継続してUNDPを通してジェンダー平等・女性のエンパワーメントに**投資**しているのは**日本政府のみ**



UNDP/日本WID基金

- 女性・女兒・ジェンダー分野に特化し、継続的に支援・投資
- イノベーション(革新)を重視:新しい取り組みへの「初期投資」という役割
- ジェンダーと開発の分野における実施レベルの牽引役:166カ国にあるUNDPの国事務所を通し、政策提言・能力向上を行ってきた
- **主な支援分野**
 - マクロ経済とジェンダー(MDGs、ジェンダー予算、貿易、海外送金、ケア経済、女性の無償労働など)
 - 紛争・復興支援とジェンダー
 - 政治的エンパワーメントとガバナンス
 - ICT(情報通信技術)とジェンダー

詳細は <http://www.undp.or.jp/undpandjapan/widfund/> をご参照

事例1： 経済的エンパワーメント

- **北部ガーナにおけるシアバター産業支援を通じた現地女性のエンパワーメントと貧困削減**
 - 北部ガーナの60万人ともされる女性たちにとって伝統的かつ重要な収入源であるシアバターの生産と販売を支援
 - マニュアルの作成や石鹼やクリームを生産研修と製品の販売促進、市場の開拓、ビジネス・スキルの訓練、品質の均一化を支援



事例2： 経済的エンパワメント/復興支援

● リベリアの復興支援：女性の経済的エンパワメント

- 14年間も紛争状態にあったリベリアの女性たちの生活が少しでも安定するよう、事業をおこすための研修、マイクロ・クレジット(小口貸付)サービスを提供
- 2008年末までに1000人以上の女性が支援を受ける予定



事例3： マクロ経済政策のジェンダー主流化

- ジェンダー予算：MDGsの達成にむけて

- ODAや公共財源の公平な分配、女性も含む参加型予算立案を提唱。予算立案者、女性NGO、など各国の関係者への研修を実施・マニュアルも英語・仏語・アラビア語で作成。
- モンゴルでは国家予算を「ジェンダー平等」の視点から分析、社会福祉関連予算が主流化されたほか、MDG達成にむけた国家予算のCostingにノウハウが応用された。



事例4： 女性の労働量/労働時間の軽減、経済的エンパワメント

(人間の安全保障基金、UNDP/WID基金)

- **マルチ・ファンクショナル・プラットフォーム(多機能発動機):女性の生活を変える魔法の機械**
 - 簡単な発電・発動装置を備えた作業機械の設置。西アフリカ各国の農村にて導入が進められている
 - これ一台で。。。
農作物加工(シアバター、豆、米などの脱穀、製粉、精米)
溶接、充電、井戸水汲み上げ、照明、現金収入



労働量と労働時間の軽減！
自分のための時間が増える！（教育、社会・政治参加
さらなるエンパワメント！



**Investing in women and girls is not just
the right thing to do, but a smart thing to
do!**

**女性や女兒への投資は、単に「正しいこと」という
だけではなく、「賢いこと」なのです！**

世界の未来のために。。。。